

平成20年度
八尾市産業振興会議報告書
～ 資料集 ～

平成21年3月

八尾市産業振興会議

資料一覧

(ものづくり関連施策)

資料 1	ものづくり集積促進奨励金	1
資料 2	中小企業サポートセンター事業	2
資料 3	企業情報データベース化事業（八尾ものづくりネット）	5
資料 4	異業種交流グループ等新製品・新技術開発支援事業	6
資料 5	ビジネスマッチング博（産業博）	7
資料 6	ものづくり受注商談会	9
資料 7	ものづくり人材育成事業	10

(商業関連施策)

資料 8	商業ネットワーク化支援事業（八尾あきんど On-Do ネット）	11
資料 9	商業ネットワーク化支援事業（八尾あきんど活性化会議）	12
資料 10	地域商業活性化委託事業	14
資料 11	地域商業活性化事業補助金	15
資料 12	空き店舗等活用促進事業補助金	16
資料 13	商業共同施設設置補助金	17
資料 14	商業情報誌発行事業	18
資料 15	商店街等活性化プロジェクト事業（大阪府制度）	19

ものづくり集積促進奨励金

【制度創設】

平成19年10月1日

【事業目的】

市内産業集積の維持発展のために、製造業者の市内での工場等の設置に対し奨励措置を講じることにより、本市での工場等の立地を促進し、また工業生産施設が集積する地域での円滑な生産活動を確保することにより、雇用の創出、産業振興及び地域経済の活性化を図ることを目的とする。

【対象事業 等】

[対象者] 製造業を営む者

[対象事業] 延床面積500㎡以上の工場等の建築又は購入

[対象地域] 工業専用地域、工業地域、準工業地域

[対象資産] 工場等を建築又は購入するにあたって投資した土地、建物、償却資産のうち機械装置

[奨励金額] 対象資産にかかる固定資産税、都市計画税の1/2以内

[交付期間] 5年以内

【指定事業数】

平成21年3月末現在 創設からの総累計 24件

平成19年度分(平成20年3月31日まで) 13件

*うち 市外企業 4件、市有地購入企業3件

平成20年度分(平成20年4月1日～21年3月31日) 11件

*うち 市外企業 1件

中小企業サポートセンター事業

—事業概要—

中小製造業の研究・技術開発、製品開発、経営革新、人材確保・育成などの相談窓口を設置し、大学・公的支援機関への橋渡し、公的支援制度の紹介や企業間連携を図りながら、専門のコーディネータによる相談・アドバイスを行った。

また、技術・経営の高度化のためのセミナーの開催や研究会活動、産学官連携事業を行った。

平成19年度以降は人材確保や工場管理等に関するコーディネータを迎え入れたことで支援メニューが手厚くなり、相談件数が増大した。

I. (1) 相談事業

相談総数 1,700件 (内訳) 技術相談 839件、人材相談 784件 その他 77件
(3月末現在) (※平成18年度 年間332件、平成19年度 年間1,296件)

【相談内容等】

加工技術や製品開発に関する相談、公的支援制度認定申請に関する相談、工場管理に関する相談、人材確保・育成に関する相談、特許相談(専門相談員)などを行なった。

企業現場のニーズにあったアドバイスができるように、企業訪問を重視。国・府や大学等の関係機関への橋渡し等により、課題解決につなげた。

(2) 国・府による支援事業の採択・認定等のサポート

相談業務を通じて、公的支援制度・事業の情報提供や、事業認定や承認に関するアドバイスを行った。

- ① 戦略的基盤技術高度化支援事業【経済産業省】・・・1件
- ② 中河内地域支援事業助成金【大阪府】・・・1件
- ③ 大阪府地域地場産業振興対策費補助金【大阪府】・・・1件

II. セミナー開催事業

全13回開催 327社 396名参加

(1) 土曜特別セミナー・技術セミナー 7回開催 223社 281名参加

【内容】

製造業の技術の高度化につなげるため、加工技術の今後の方向性や動向について、実際の加工事例も交えながら解説・啓発を行った。また、今後の新産業のひとつの方向性として、航空宇宙産業に関するテーマのセミナーを開催したところ、多数の参加(116名)がえられた。

(2) 経営革新セミナー 6回開催 104社 115名参加

【内容】

経営者を対象に、中小企業の経営理念・目的の明確化、組織風土・職場環境の改革、人材確保・育成の課題について検討し、その解決に向けた経営革新の意義についてのセミナーを大阪府や関係機関、経営革新計画認定企業等の方々を講師として開催した。

Ⅲ. 産学連携・研究会活動事業 その他

1) 研究会活動

(1)「八尾バリテク研究会」 6回開催 90社110名参加

加工業のバリの課題解決のための研究会を開催。関西大学との産学連携を軸に展開。

平成20年度は、23社で開催。関西大学の北嶋教授の指導の下、会員企業の工場見学を実施し、現場で課題解決についての検討を行なった。また、関西大学・大阪産業大学の研究室訪問なども行なった。なお、今年度から研究会の運営は幹事会が中心となり自主的運営により開催。幹事会は8回開催。本年2月21日・21日に大田区産業振興協会主催のバリテクノロジーシンポジウム2009にて、八尾バリテク研究会から実績について、初めて発表。

2) その他の産学官連携事業

(1)国立奈良工業高等専門学校との産学連携

① 市内製造業の生産の高付加価値化に向けての人材育成の一助のため、「組み込みシステム技術者養成講座」、「金属加工系技能者向け講座」への参加の呼びかけを行った。(市内企業からそれぞれの講座に12名、4名参加)

② 文部科学省委託事業(JST 事業)

奈良高専と市内事業者との連携による、組み込みシステムを活用した製品の共同開発がJST 事業に採択。

(2)その他 市内企業と大学等との共同研究(関西大学、近畿大学、大阪府立大学)の実施。

3) 人材確保・育成事業

(1)工科高校との連携事業

内容 大阪府ものづくり人材育成事業「クラフトマンシップ21」事業の一環として、布施工科高校・城東工科高校との連携事業を進めた。

●城東工科高校への市内企業からの熟練技能者派遣への協力

●布施工科高校インターンシップ受入協力企業の確保 市内企業 3社

●12月10日(水) 布施工科高校PTA主催による企業見学会(3社)のサポート

(2)新卒者採用支援

製造業の経営・技術の高度化を担う人材を確保するために、大学や工科高校、雇用能力開発機構、府下の高等職業技術専門校との連携を図り、企業に対して校内企業説明会の開催案内などの情報提供を行った。

(3)夏休みの中学生製作体験型ロボット教室の開催 参加者数 9 名

日時 8月7日(木)、8日(金) 場所 八尾市中小企業サポートセンター

内容 「マテック八尾」と「奈良高専」の協力により、ものづくりへの興味を高めるため、市内中学生向けのロボット工作教室を開催した。

4)「八尾ロボットフェア2009」開催への協力

参加者数 約1,300名

日 時 2月21日(土) 場 所 アリオ八尾

内 容 「第1回八尾ロボットコンテスト」、「大学のロボット体験・展示コーナー」

*「八尾市をあげて、将来のお茶の水博士を育てよう」との思いから、「マテック八尾」が主催した「八尾ロボットフェア」の開催について、大学やアリオ八尾などの関係機関との調整や広報などの協力を行なった。

5)その他

企業データベース登録企業などへの情報提供を FAX 等により適宜行なった。

FAX 送信件数 27,737件、メール便 1,571件、直接配布 388件、電話 335件、メール送信 55件。合計30,086件

(1)各種セミナーや特許相談の案内

(2)ビジネスマッチング博や受注商談会などの案内

(3)国・府等の公的支援施策の案内 など

企業情報データベース化事業 (八尾ものづくりネット)

1. 事業目的 八尾市内企業の詳細なデータを行政情報として保有することで、市内企業の経営課題や経営実態を十分に踏まえた適切な行政施策を展開する。
また、企業情報をインターネットで情報発信を行なうとともに自由に検索できる仕組みづくりを行なうことにより、新製品の開発や取引の拡大など、市域企業の経営に役立てる。
2. 事業内容 平成14年7月より「八尾市企業情報データベース」に加えて、新たに「ものづくり見本市」というビジュアルサイトを立ち上げ、「異業種交流データベース」とともに製造業ポータルサイト「八尾ものづくりネット」として情報発信を開始。
3. 対象事業者 市内製造業・生産財卸売業の事業所が対象。
4. 事業経過
平成10年度：対象となる全事業所の調査、システム開発。
平成11年度：登録事業所のうち、公開情報をホームページで発信を開始。
平成12年度：未登録全事業所への訪問による加入依頼。約360社が新たに登録。異業種交流グループの調査とシステム設計。
平成13年度：異業種交流グループデータベースのネットによる発信を開始。
ものづくり見本市(事業名:高度企業交流システム)のシステム開発と調査。
平成14年度：ものづくり見本市(ビジュアルデータベース)の発信。
平成15年度：掲示板機能追加
平成16年度：新製品・新技術紹介、空き工場・空き工場用地情報の紹介サイトの項目追加。
八尾の製造業の英語での紹介、ホームページのリニューアル
5. コンテンツ別登録事業所数等（平成21年3月31日現在）
(1)企業情報データベース：1,042社の詳細なデータベース(うち公開は744社)。
(2)異業種交流データベース：市内異業種交流11グループの紹介。
(3)ものづくり見本市：製品・技術のバーチャル展示場、149社が登録。
6. アクセス件数

アクセス件数(単年度累計)	平成20年度(3月末)	249,913件
	平成19年度	304,545件

平成20年4月～平成21年3月の平均月間アクセス件数は、20,826件

異業種交流グループ等新製品・新技術開発支援事業

○事業概要

「ものづくりのまち・八尾」のブランド化を推進するような新製品や新技術の研究開発を行う事業に要する経費の一部を助成する。

・補助対象

製造業事業者(中小企業)で組織する協同組合、研究会、グループ等でその構成員のうち2分の1以上が八尾市内に主たる事業所または支店等を有すること。

・補助率及び補助金の額

補助対象経費の2分の1以内で1事業あたり1,000,000円を限度とする。

○趣旨・目的

異業種グループ等の新技術・新製品の開発に対し助成するもので、八尾市企業のPRや「ものづくりのまち・八尾」のブランド化推進に資することを目的とする。

○実績

申請 1件 計 1,000,000円

採択 0件

* 申請に基づき、事業決定したが、その後申請者の破産により、決定取消を行った。

ビジネスマッチング博（産業博）

◎ 事業内容

大阪府下7地域で連携し開催した東京開催と、八尾市単独で開催した大阪開催と年2回開催

【東京開催分】(※以下の報告内容は大阪ビジネスEXPO2008全体でのもの)

名 称	大阪ビジネスEXPO2008
会 期	第一日目 平成20年5月22日(木) 午前10時～午後5時 第二日目 平成20年5月23日(金) 午前10時～午後5時
会 場	東京都江東区有明3-21-1、東京ビッグサイト 西3ホール
運 営	大阪ビジネスEXPO2008運営委員会
構 成	「もうかりメッセ東大阪2008 in 東京」(70社・団体) 「めっせdeさかい2007 in TOKYO」(53社・団体) 「河内ものづくりフェア2007」(68社・団体)
後 援	経済産業省関東経済産業局・近畿経済産業局、大阪府 日本貿易振興機構(JETRO)、中小企業基盤整備機構 日本商工会議所、関東商工会議所連合会、大阪府商工会議所連合会 東京商工会議所、東京メトロポリタンテレビジョン株式会社
出展企業	191社・団体
小 間 数	251小間
来場者数	延べ11,724人
引合件数	10,911件

【大阪開催分】

名 称	ビジネスマッチング博 2008(八尾市産業博)
開催趣旨	ビジネスチャンスの発見と獲得、人脈の拡大、異業種交流の推進、 販路の拡大、より良い情報の収集
会 期	第一日目 平成20年10月16日(木) 午前10時～午後5時 第二日目 平成20年10月17日(金) 午前10時～午後4時
会 場	大阪府中央区本町橋2-5、マイドームおおさか 1階展示場
主 催	八尾市産業博開催実行委員会 (八尾市、八尾商工会議所、大阪東信用金庫)
後 援	近畿経済産業局、大阪府
協 賛	財団法人 大阪産業振興機構 財団法人 日本中小企業福祉事業財団(日本フルハップ)
出展企業	70社・団体
小 間 数	87小間
来場者数	8,601名
引合件数	4,001件

ものづくり受注商談会

【事業概要】

- 事業名 八尾ものづくり受注商談会2008(逆見本市)
- 開催趣旨 八尾のものづくり企業の製品・技術の情報発信、販路の開拓・拡大
- 内容 「売り手側」が出展する通常の見本市ではなく、大手・中堅の「買い手側」企業が出展する逆見本市スタイルの展示会
- 会期 平成20年11月21日(金) 10:00~16:00
- 会場 八尾商工会議所 3階 講堂
八尾市本町2-2-8
- 主催 八尾市、八尾商工会議所
- 出展企業 延べ19社
- 来場企業 延べ48社

ものづくり人材育成支援事業

1. 技能者育成セミナーの開催

(1) 趣旨・経緯

市内中小企業が高度な技術・技能を持つ人材を育成し、製品・技術開発力を向上させることにより、産業集積の高度化へとつなげる

(2) 内容

平成 20 年度テーマ「測定データの活用技術(QC 編)」

(内容)検査工程の品質管理作業に関して、統計的データ解析技術及び統計的な問題点の発見技法を習得。製造現場における品質管理作業の改善及び品質・生産性の向上に資する能力の習得を目的とする。

(講師) (独) 雇用・能力開発機構大阪センター (ポリテク関西) 講師

(3) 開催日時・場所

日時：平成 21 年 3 月 13 日 (金) ～14 日 (土)

場所：八尾市中小企業サポートセンター 多目的室

(4) 主催

八尾市 (独) 雇用・能力開発機構大阪センター (ポリテクセンター関西)

(5) 対象者

製造業務に従事し、製造工程の改善や生産性向上に対して指導的・中核的な役割を担う品質管理責任者、またはその候補者 * 16 名参加

2. 技能者育成・従業員能力開発にかかる実態把握及び情報提供

(1) ポリテクセンター関西と連携して、八尾市内の中小製造業者(機械分野企業約 50 社)に対して、人材育成ニーズ調査を実施。

(2) 上記ニーズ調査を踏まえて、市内中小企業向け制度紹介を内容「人材育成ガイド」を作成し、市内中小企業 (企業情報データベース 1200 社) に配布

商業ネットワーク化支援事業

(八尾あきんど On-Do ネット)

1. **事業目的** 商業者と消費者および行政をつなぐ情報基盤を整備することで、市内及び周辺地域からの市民の購買機会や交流機会を促進し、地域活性化を図る。
2. **事業内容** 商業者の登録データを一元管理し、インターネットにより個店情報を発信することで、地域の消費者の利便性向上と個店の振興を図る。
3. **対象事業所** 市内に店舗を有する小売・卸売・飲食・サービス業の事業所のうち、市が対象と認めるもの。

4. 事業経過

年度	事業内容
平成13年度	登録に関する意向調査、システム構築など
平成14年度	サーバー保守、新規登録及び情報更新 ※7月14日発信開始
平成15年度	サーバー保守、新規登録及び情報更新 バーチャルモールの設置
平成16年度	サーバー保守、新規登録及び情報更新
平成17年度	企画選定方式により委託業者を募集し、NPO法人に決定する。 サーバー保守、新規登録及び情報更新以外に、トップ・ページのリニューアルを実施する。
平成18年度	新規コンテンツとして、「うまいで！食べてや！！八尾特産物」を設置する。
平成19年度	全登録事業所に情報更新を依頼する。サイト上で、消費者向けアンケートを実施する。
平成20年度	新規コンテンツとして、「商店街・市場マップ」、「マンスリーこれどやっ！」を設置する。ロゴ入りステッカーを制作し、登録事業所に配布する。

5. 平成20年度実績

登録事業所数	1, 009店 (平成21年3月31日現在)
月間平均アクセス数	27, 255件 (平成20年4月～平成21年3月)
月間最高アクセス数	45, 131件 (平成20年4月)

商業ネットワーク化支援事業

(八尾あきんど活性化会議)

1. 経緯等

H19年度、商業集積への支援を強化するため、商業者セミナーに替わり「八尾市の商業について語り合いませんか？」を開催したところ、参加者より継続してほしいとの意向があり、概ね月1回のペースで、八尾小売市場連合会、八尾市商店会連合会の役員が意見交換する場を提供している。

2. 活動概要

- ・ H20年度の開催状況については、次頁のとおり。
- ・ H20年度については、団体組織（特に上部組織）の活性化を目的として、八尾市商店会連合会（14団体(当初12団体)）、八尾小売市場連合会（5団体）が共同で、「八尾あきんどエコバッグ」制作事業に取り組んだ。

(H20年度 大阪府商店街等魅力向上促進事業補助金 採択事業)



3. 成果等

- ・ 共同事業の実施により、アリオ八尾の出店等により停滞していた両連合会の事業活動が活発化し、“八尾の商業”の発信につながった。
- ・ 商店会連合会については、取組み中、新規2団体の加入があり、上部団体の存在意義について活路を見い出すことができた。
- ・ 新たに考案した“yao akindo”（＝八尾あきんど）の名称やロゴについては、意思統一やブランド化のため有用であり、今後も使用していく予定である。
- ・ 将来的には、商店会連合会、市場連合会が連携した共同販促事業（イベント・売出し等）につなげていく。

H20年度 八尾あきんど活性化会議 開催状況

	開催日	場 所	内 容
第 3 回	H20/04/18	八尾商工会議所 講堂A	・エコバッグの制作と環境問題について(他市の事例検証) ・各団体の活動紹介②(高安駅西整備振興会)
第 4 回	H20/05/23	八尾商工会議所 講堂A	・エコバッグ制作事業及び委員会の立ち上げについて ・各団体の活動紹介③(JR八尾駅前商業(協))
第 5 回	H20/07/04	八尾商工会議所 講堂A	・「まいど子どもカード」の普及について ・「八尾あきんどOn-Doネット」の活用について ・各団体の活動紹介④(山本市場(協))
第 6 回	H20/08/29	八尾商工会議所 講堂A	・各団体の活動紹介⑤(龍華市場(協)) ・商業関係の補助金制度について(紹介) ・商業調査への参加について
第 7 回	H20/12/05	八尾市役所 604 会議室	・「エコバッグに関するアンケート調査」結果報告 ・エコバッグのデザイン、規格検討 ・制作枚数及び自己資金の調達方法について
第 8 回	H20/12/25	八尾市役所 大会議室	・エコバッグの規格、デザイン決定 ・制作枚数及び自己資金の調達方法について
第 9 回	H21/02/17	八尾市役所 502 会議室	・エコバッグのPRポスターデザインの検討 ・エコバッグ配布方法の検討 ・負担金やエコバッグ配布枚数の検討
第 10 回	H21/03/06	八尾市役所 602 会議室	・エコバッグのPRポスターデザインの決定 ・エコバッグ配布方法等の決定 ・地域商品券発行事業について八尾市から依頼。

地域商業活性化委託事業

1. 背景等

近鉄八尾駅の駅舎移転や大型店の出店によって、旧駅周辺を中心に広がった商店街の衰退が顕著であり、商店街の衰退がまちのにぎわいにも影響を与えている。

2. 事業目的 本市の中心的な市街地である近鉄八尾駅周辺の商業活性化を図る。

3. 事業内容 近鉄八尾駅周辺の商店街のほぼ中央に位置する山城町一丁目第1公園（河内音頭広場）を会場とし、河内音頭等集客力あるイベントを実施する。

4. 平成20年度実績

○第1回目（6/15(日)実施）

河内音頭（模範踊り、一般参加及び初心者指導）

○第2回目（9/27(土)実施）

大お逮夜市

委託事業（お逮夜ラリー、河内音頭、八老劇団「浦島太郎」、
写真展「八尾の思い出」、歯ブラシ植毛実演会）

近隣4商店街による自主事業（売り出し、店舗見学、葉書供養）

市民活動団体等による自主事業（ちょいランチツアー、歴史体験教室、
絵手紙教室、バザー等 7団体が出店）

○第3回目（11/9(日)実施）

河内音頭（模範踊り、一般参加及び初心者指導）

5. 成果等

・例年は、河内音頭のみの実施であったが、今回、新たなイベントを企画、実施したことにより、固定客以外にも広範な年齢層の集客があった。

・4商店街が連携し、スタンプラリー終了者（先着120名）に500円分の金券を発行。個店、単体組織だけでなく、商業集積としての魅力向上、集客について考えるきっかけとなった。

・目的や意識に違いは見られたものの、商店街と市民活動団体がコラボレーションすることにより、PR、集客等について、一定の相乗効果があったものと思われる。

・イベント会場と商店街の間に回遊性をつくり、買物につなげていくには、さらなる工夫が必要である。

地域商業活性化事業補助金

1. **事業目的** 商店街や小売市場等が地域社会に向けて行う活性化事業に対し、その事業に要した費用の一部を補助することで、商業団体の発展と住民福祉の向上に寄与する。
2. **事業内容** 商業団体が行うソフト事業について、市よりその経費の2分の1を補助する。（補助上限額：1団体あたり年間54万円まで）なお、補助金の交付後、大阪府（大阪府商店街等活性化支援事業補助金）より2分の1の間接補助を受けている。

3. 平成20年度実績（15件）

事業実施団体	事業名 及び 事業内容	
JR 八尾駅前商業協同組合	花いっぱい運動	老人会や高校生グループの協力により、駅前花壇の植え込み整備と域内の美化運動を行った。
	地域ふれあい「昔あそび教室」	子供会、青年団、女性会等有志やNPO法人の支援により、昔から受け継がれてきた遊びを再現。地域の子ども、大人のふれあいを図るとともに、安全・安心なまちづくりに寄与した。
新栄商店会	ふれあいまちづくりカラオケ大会	地域消費者との交流を深めるため、アリオ八尾の舞台を借りて、カラオケ大会を開催した。
	ふれあいまちづくり餅つき大会	地域消費者との交流を深めるため、桂公園にて餅つき大会を開催した。
高安駅西整備振興会	高安ふれあいまつりとクリーンキャンペーン	玉串川の桜の開花時期にあわせて、高安駅西地区ふれあいまつりと美化活動を開催し、住民とふれあうことで、地域の活性化に寄与した。
	防犯キャンペーンとクリスマスのイルミネーション	高安駅前交番隣にクリスマスのイルミネーションを設置するとともに、八尾警察署、自治推進課等の協力を得ながら、ひったくり防止カバーを配布した。
高安駅前商店会	スリランカフェスティバル in 高安駅前商店会	国際交流の一環として、スリランカのアピールをすることによって、地域住民とのふれあいを図った。
ペントモール八尾協同組合	「おさるのしんちゃんとかいなか仲間たち」ほか	親子連れ来街者に、本物の猿やペンギンと触れあう機会を提供し、記念撮影を実施した。
八尾市商業協同組合	わんぱくちびっ子カーニバル	商店主が模擬店を出店し、地域の子どもたちを招待。また、前年に続き、八尾警察署、八尾市消防本部の協力による白バイ、ミニ消防車の記念撮影コーナーを設置した。
	お速夜市イベント	伝統あるお速夜市を復興させるため、毎月11日、27日に「お速夜市セール」を開催し、セールの開催にあわせて付近の寺社と連携した「はがき供養」を行った。
山本商店街振興組合	お花いっぱい運動と癒しのクラシックコンサート	コミュニティセンターでクラシックコンサートを開催するとともに、山本駅前では花の苗を配布した。
山本南商店街振興組合	夏まつり夜店	町会や小学校のPTAと連携し、地域の子どもや商店街の買い物客を対象とした夜店まつりを開催。模擬店、ゲームコーナー等の出店により、一夏の思い出を提供した。
	おすもうさんともちつき大会、まちなか朝市「ようさん市」	定期、継続的な事業として、21年3月より月一回の朝市を立ち上げた。初回は、10ブースの出店があり、恒例の「おすもうさんと餅つき大会」の日程にあわせて、実施した。
八尾市商店会連合会	「八尾あきんどエコバッグ」制作事業	団体組織（特に上部組織）の活性化を目的として、八尾市商店会連合会（14団体（当初12団体））、八尾小売市場連合会（5団体）が共同で、「八尾あきんどエコバッグ」の制作に取り組んだ。
八尾小売市場連合会		

空き店舗等活用促進事業補助金

- 1. 事業目的** 空き店舗や空き地を活用し、活性化事業を行う商業団体に対し、その事業に要した経費の一部を補助することにより、商業団体の育成及び地域商業の振興を図る。
- 2. 事業内容** 商業団体が行う空き店舗対策事業の経費（賃借料、改装費等）に対し、市より2分の1の補助を行う。なお、補助金の交付後に大阪府より2分の1の間接補助を受けている。（大阪府商店街等活性化支援事業補助金）
- 3. 平成20年度実績（1件）**

事業実施団体	事業名 及び 事業内容	
JR八尾駅前商店会	魅力ある店舗の誘致 （飲食店）	商業集積としての魅力を高め、消費者の利便向上を図るため、商店街の空き店舗に新店舗を誘致した。

商業共同施設設置補助金

1. 事業目的 市内の商業団体がその発展向上を図るために商業共同施設を設置する場合、その費用の一部を助成することにより、地域商業の振興を図る。

2. 事業内容 市内の商業団体が街路灯、アーケード等を設置する経費の一部を助成する。（※補助率は設置施設により異なる。）なお、平成18年度より、商業団体が安全・安心なまちづくりに寄与することを目的として、防犯カメラ、防犯灯等の防犯対応設備を設置した場合、国（補助対象事業費が200万円以上の場合）等と連携し、補助事業を実施している。

3. 平成20年度実績（4件）

事業実施団体	設置施設	補助率	補助金の額
八尾市商業協同組合（本町筋地区）	アーケード（改修工事）	15%	5,000,000 円
	防犯カメラ(26台)（設置工事）	15%	910,000 円
	防災施設（補修工事）	10%	690,000 円
	放送施設（取替工事）	10%	360,000 円

商業情報誌発行事業

1. 経過

これまで商業活性化とキャリア教育推進のため、実行委員会（事務局：八尾商工会議所）方式で実施していた「職業体験情報誌発行事業」について、今年度は、大阪府商店街等魅力向上促進事業補助金を活用しながら、「商業情報誌発行事業」として実施した。

2. 事業目的

商店街、小売市場やまちの魅力を市内外の消費者に発信するための情報誌を作成し、商業活性化につなげる。

3. 事業概要

- 冊子名 : 『SYAON（シャオン）』（臨時号） やおのまちガイド
 主催 : 八尾商工会議所
 共催 : 八尾市
 発行部数 : 40,000 万部
 仕様 : A4版、19ページ、オールカラー
 掲載内容 : ・地図（市内全域図及び各駅の周辺図）
 ・商店街・小売市場に関する情報
 商店街・小売市場のコンセプト、恒例の販促事業（イベント・売出し）、
 グルメ情報など
 寺社など周辺のおすすめスポット
 ・イベント歳時記

4. その他

市内各駅、公共施設、金融機関等の窓口へ配架したほか、社会科等の学習に活用してもらうため、市立小学校（29校）3、4年生全員に配布した。



※『SYAON（シャオン）』について

平成18年に八尾商工会議所が、小規模商業者活性化事業の一環として、「グルメ特集」（第1号）を発行。翌年、「卸・小売店、お持ち帰りグルメ」（第2号）を発行。本年度は、八尾市と八尾商工会議所が共同で「やおのまちガイド」（臨時号）を発行した。

商店街等活性化プロジェクト事業（大阪府制度）

1. 事業概要

大阪府から派遣された「商店街等活性化マネージャー」が、商店街等の活性化方策等の検討から事業展開にいたるまで、総合的にアドバイスを行う制度。

2. H20年度 利用実績

派遣団体名 : 山本南商店街振興組合

検討テーマ : 集客効果が高く、定期的に継続可能な事業として、「朝市」を定着、発展させる。

第1回ようさん市の様子



3. 成果等

(本制度が商業団体にもたらしたもの)

- ・定期的、継続可能な事業として、朝市（毎月第1日曜日開催）を立ち上げたことにより、単発的なイベントを実施していた時とは違った視点で、集客について取り組むようになった。
- ・アドバイザーの助言により、組合内部の体制や役割分担について、見直すきっかけとなった。また、イベントを実施する際に、必要な手法を習得することができた。
- ・アドバイザー、行政の関与により、商店街を取り巻く地域住民、団体等の参加が促進された。

支援会議の開催状況

	開催日	内容
第1回	H20/10/27	・アドバイザーの指導内容について ・商店街や朝市のめざす方向性について
第2回	H20/11/10	・コンセプトの検討
第3回	H20/11/17	・コンセプトの決定
第4回	H20/12/01	・企画(出店内容、出店品目等に関する検討)
第5回	H20/12/10	・企画(出店内容、出店品目等に関する検討) ・出店募集要項(案)の検討
第6回	H20/12/15	・実施計画の作成 ・出店申込書(案)の検討
第7回	H21/01/15	・広報計画の作成 ・出店状況の確認①
第8回	H21/01/21	・各種届出状況の確認 ・出店状況の確認②
第9回	H21/02/05	・役員間の合意形成 ・組合内部の役割分担
第10回	H21/02/09	・会場計画の作成 ・出店状況の確認③
第11回	H21/02/24	・当日のタイムスケジュール、役割分担等について ・出店状況の確認④
第12回	H21/03/01	・本番「第1回ようさん市」
第13回	H21/03/09	・反省会